

松本歯科大学歯科保存学講座では、以下の研究を実施しています。この研究について詳細に知りたい方は、「問い合わせ先」までお問い合わせください。

また、この研究の研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の試料・情報を「この研究課題に利用（又は他の研究を行う機関に提供）してほしい」と思われた方は、試料・情報の使用を拒否することができますので、「試料等の研究への利用に関する不同意書」をご提出ください。

研究の名称	喫煙指数と歯周炎重症度との関連についての横断的研究
研究責任者	歯科保存学講座 講師 出分菜々衣
研究期間	2024年8月1日～2027年3月31日
研究の目的・概要	<p>喫煙は歯周病の発症や進行に影響します。歯科医療機関では、喫煙に関連する歯周炎に対する歯周治療で、患者の喫煙状況の確認をして、喫煙者への喫煙の健康障害について情報を提供しています。また、禁煙を支援することは、歯周病治療の予後を良好に維持するため重要です。</p> <p>喫煙が人体に与える影響は、それまでに喫煙したタバコ煙の総量と密接に関係しています。そこで、1日あたりの平均喫煙本数と喫煙年数をかけあわせたものを喫煙指数 (Brinkman index, 以下 BI とする) として、その目安となります。例えば、1日1箱 (20本) のペースで、20年吸い続けた場合の BI は、20 (本) × 20 (年) = 400 となり、BI400 を超えると肺がん、1,200 を超えると喉頭がんのリスクが高くなります。よって、禁煙に何度失敗しても、あきらめないことが重要です。</p> <p>本研究の目的は BI と歯周炎の重症度との関連について明らかにし、BI が歯周炎の重症度を予測できるかを検討します。</p>
利用又は他機関に提供する情報	<p>2024年6月1日～2025年3月31日に松本歯科大学病院歯周病科に来院した患者様の以下の情報を利用します。</p> <p>診療録、歯周組織検査、歯周病科問診表に記載されている以下の項目を調べる。年齢、性別、過去にかかった病気、血圧、喫煙の有無、1日何本のタバコを吸っているか、何年間吸っているか、禁煙後何年か、禁煙外来過去来院数、現在歯数、義歯有無、歯周病の状態等。</p>
試料・情報の利用目的及び利用方法 (他の機関へ提供する場合はその方法を含む)	上記のデータを収集させていただき、その後まとめて分析を行います。結果については、学会および論文にて発表させていただきます。その際には、個人を特定できないようなかたちで、統計解析後のデータを使用させていただきますので、ご安心ください。
試料・情報を利用する者の範囲	歯科保存学講座 出分菜々衣, 吉成 伸夫。
問い合わせ先	松本歯科大学歯科保存学講座 講師 出分菜々衣 電話：0263-51-2016